

目次

1 本研究の進捗状況

2 国士舘大学

3 アンケート調査実施と結果

4 各防災館訪問

5 まとめと今後の展望

6 今後のスケジュール

7 石巻専修大学訪問

8 フィールドワーク先

9 参考文献

1-1本研究の進捗状況

本研究の方向性
水害・情報伝達

多摩大学における

防災教育、拠点化
情報の提言、発信の場

としての役割構築を目標に研究を行う。

遅れているのか
進んでいるのか

今回の調査研究

学生の役割：何をすべきなのか
広義の視点：防災とは何なのか

防災対策を理解

防災教育、拠点化

【国土館大学】
他大学が行う防災対策事例から学ぶ

防災情報の発信戦略

【多摩大学】
学生に対する防災意識のアンケート

【本所防災館】
【立川防災館】
伝えるべき防災意識と戦略

多摩川水系から見た「水害」への対策を検討

2-1 国士舘大学 概要

訪問目的：他大学が行う防災対策事例から学び学生の役割を考える

■ 国士舘大学の概要

【防災・救急救助総合研究所】

- ・教育・研究に力を入れており、産官学民とともに防災意識向上に向けた動きをとっている。
 - ・災害に強い防災拠点を目指し、研究結果を基に災害対応マニュアル(地震・水害等)の作成。
- そのほか有事(東日本豪雨・東日本大震災)で国士舘大学による災害支援活動を行った実績がある。



ステップアップ方式の教育



学内ボランティア団体



防災拠点を目指し発信を強化

2-2 国士舘大学 教育戦略

災害時直結型
ステップアップ教育

学生ボランティア災害支援

防災授業発信 小中学校

防災リーダー養成論・実習

防災基礎教育全1年生対象

就職後も
使えるな



高い防災
スキル

- ・人命救助
- ・災害復旧

人に
伝えられる

自ら行動
できる人材へ

災害を
自分事に

■ 学び

○効果的な教育

- ・実際に体験する事が頭に残る
- 事後学習の重要性
- ・宿泊学習でもあり座学の他に**体験**も重要

○情報発信の戦略

- ・**取捨選択**の重要性
- ・**場所**に限定しない防災意識を付ける必要



2-3 国士舘大学 外部団体との関り

災害時に向けた
外部団体との関り

災害時機材供給

産官学民と防災行動の検討

他大学との防災サークル交流

6大学との連携協定

NPO団体との連携
研究・災害復旧
援助

災害を専門に研究

学校運営：
平時から連携

学生：
他大学と防災サー
クルで交流

■ 学び

○ 繋がり

防災サークル(IVUSA)

サークルに参加し防災知識を学ぶ必要性も視野に

○ 支援体制

機材供給や防災対策を行う上で必要不可欠な存在

- ・多摩大学と関りの強いNPO法人があるか調査する
- ・地域住民の特性を調査

3 - 1 防災意識アンケートから見た防災

2023年度インターゼミ多摩学班 防災意識アンケート

【調査目的】

インターゼミ多摩学班では、水害の視点から防災について調査を行っております。

この調査は多摩大学社会学研究会における研究の一環で、水害に関する関心度や、水害に対する防災意識、防災マニュアルの効果や改善点、需要とニーズの関係についてご意見をうかがいます。

- 1) 所要時間は5分程となります。
- 2) 取得した情報は、研究以外の目的では使用されません。

22111230yz@tama.ac.jp [アカウントを切り替える](#)

📄 下書きを保存しました

🔒 共有なし

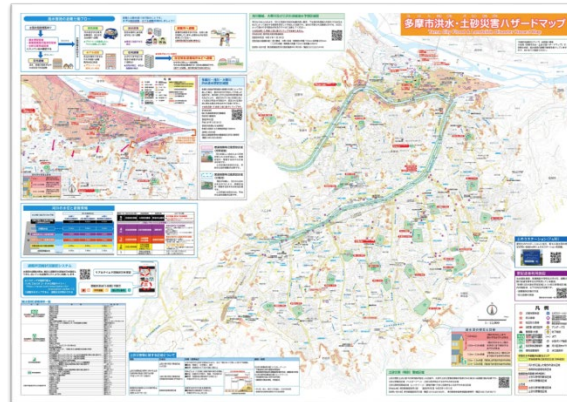
* 必須の質問です

1、性別 *

- 男
- 女
- ノンバイナリー/第3の性別
- 答えたくない

□ 目的

**多摩大生の防災意識の把握や避難行動に対する認識、
防災リソースの活用状況、および避難場所の認知度を調査する。**



有効回答数:297
日本人学生:251
留学生:46
実施時期：1週間
(2023/07/18~2023/07/26)

【回答者のプロフィール】

性別、日常での使用言語、年齢、在日年数、入学区分
.....

【災害に対する関心度】

・防災に対する関心度
・台風・水害、地震、火災に対する関心度
など
.....

【防災マニュアルに関する質問】

・防災対策資料利用経験
・防災対策資料の見やすさ
など
.....

3-2 日本学生・外国留学生から見た 台風・水害 地震 火災

関心度が非常に低い

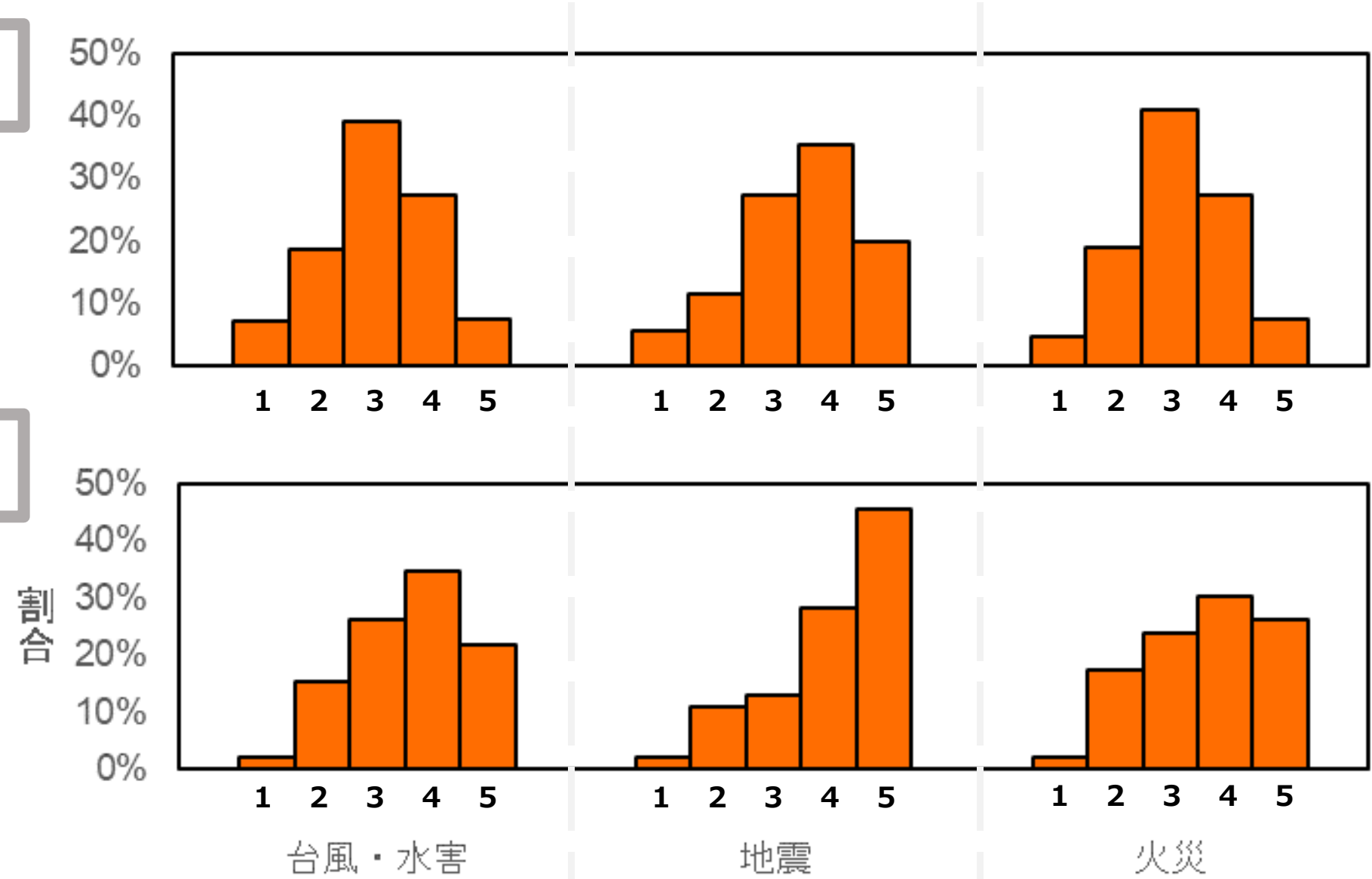
①

→ 関心度が非常に高い

⑤

日本人学生
(n = 251)

留学生
(n = 46)

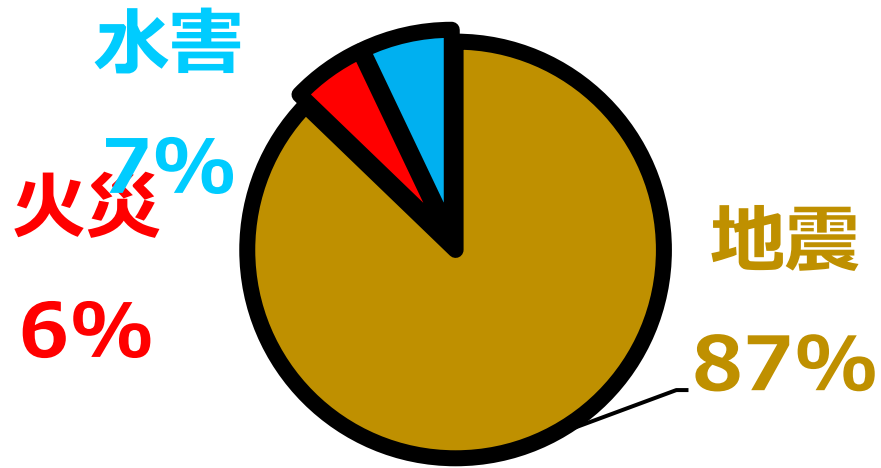


3 - 3あなたが一番最初に思い浮かべる災害は何ですか

水害（水による災害の総称）

火災

地震



災害種類	回答者数
地震	256人
火災	17人
水害	21人
合計	297人

水害についての関心度は決して高くない。

しかし、水害や土砂災害は日本では極めて深刻な問題であり、

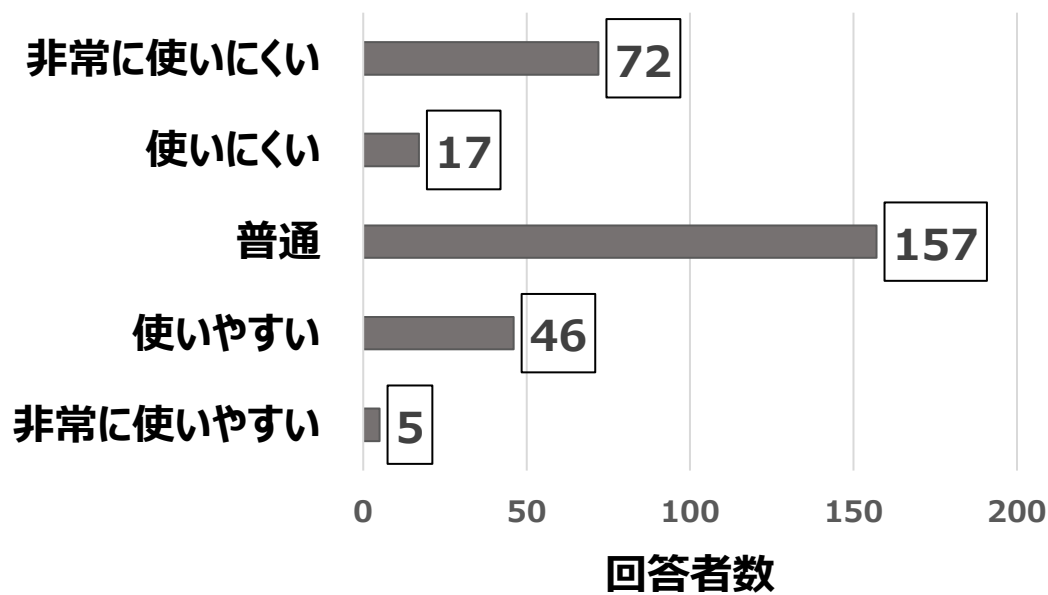
気候変動の影響で今後も増加する可能性が高い。

そのため、水害に対する情報発信は重要な課題であると考えられる。

3-4アンケート：一部の結果

結果

Q :お配りした市区町村の防災対策資料の見やすさについて、正直な意見をください。

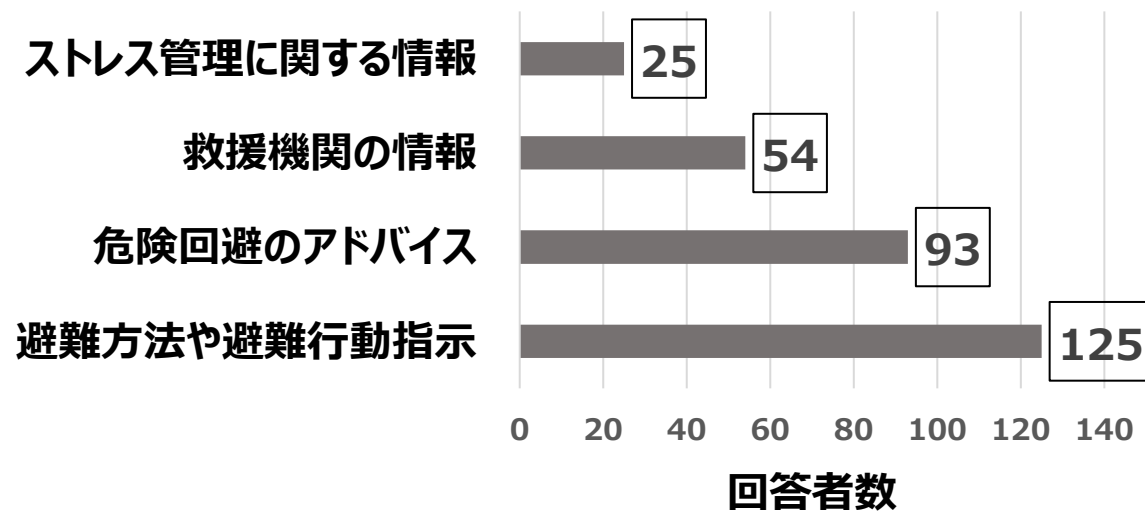


使いにくいとの回答が**3割を占めた**

ハザードマップは災害時の避難に必要な情報だが、

見にくいと避難行動に影響が出る恐れがある

Q :市区町村の防災対策資料を利用する際に最も重要だと思う機能や情報は何か？



避難方法や避難行動指示が**多く**の人々が感じている

資料のカスタマイズや情報提供は、

地域や人々のニーズに合わせて行うことが不可欠

4 防災館訪問

訪問目的：防災情報の効果的な発信戦略を学ぶ

	立川防災館	本所防災館
震災	・被災者救助実習 ・地震体験	・震災の映像 ・起震機体験
火災	・消火体験	・煙体験 ・火災シミュレーション
水害	・VR水害体験	・暴風雨体験 ・水圧体験

班員の意見

- ・水害はもともと身近な存在
 - ・震災などはどこに逃げればいいのか先に分かるが、水害は、氾濫箇所が予想しにくい
- ➡**アンダーパス**や**地下駐車場の危険**

防災館の役割

- 1、外国人の訪問客もおり、防災の重要性を幅広く発信する。
- 2、直接体験ができることから、防災意識が効果的に高められる。
- 3、水害の危険性についても周知させている。
- 4、情報伝達の面で実効性が高い。

今後の方針

- 1、**水害**について調査する価値は**非常に大きい**を確認。
- 2、**防災資料**の見やすさ→外国語ではなく、簡単な日本語を使うことで誰もが分かりやすくなっている。

国土舘大学訪問から得た知見

学生の役割

- ・災害時での復旧
- ・防災研究
- ・情報の取捨選択
- ・産官学民情報共有

教育戦略

アンケート調査

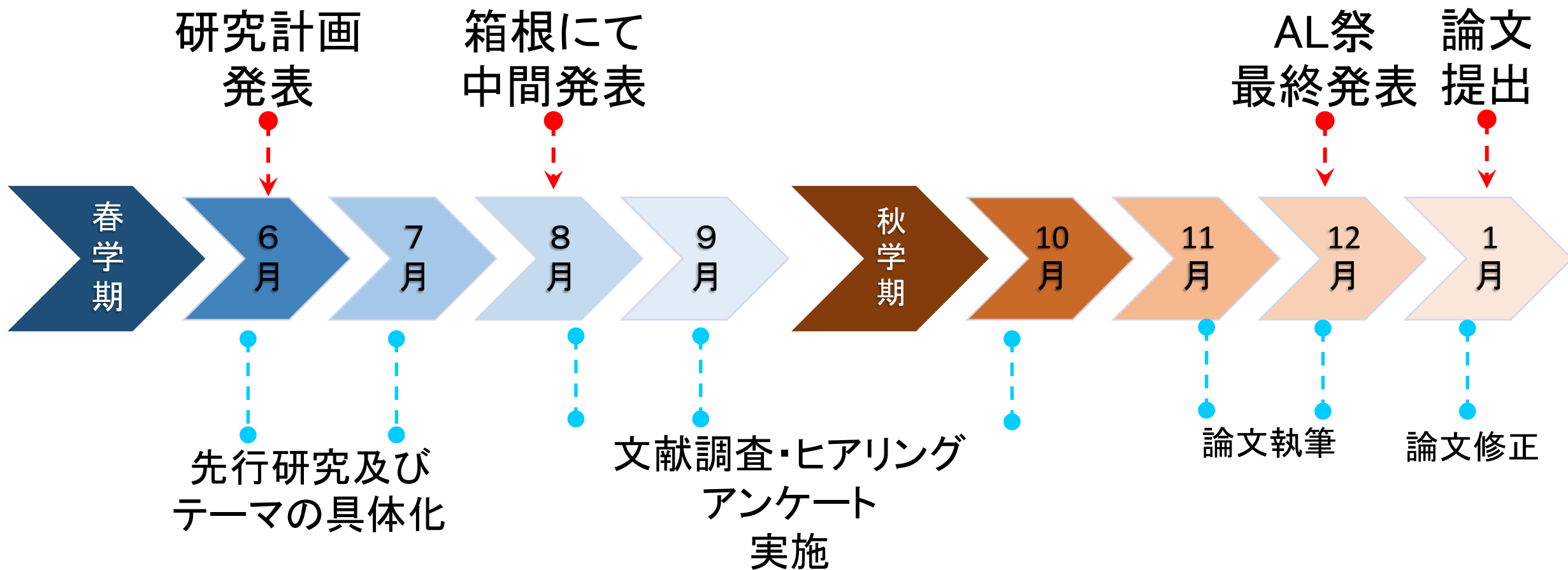
防災舘訪問から得た知見

- 1、水害について調査する価値は非常に大きいを確認。
- 2、防災資料の見やすさ→外国語ではなく、
簡単な日本語を使うことで誰もが分かりやすくなっている。

情報戦略

- ・一年生からの防災基礎教育
- ・団体への参加によるボランティア活動
- ・災害（水害）研究

6 今後のスケジュール



7 石巻専修大学への訪問

訪問目的：
**大規模災害において、
大学が果たした役割を学ぶ**



8フィールドワーク先

防災教育、拠点化

- 国土舘大学（2023/07/14 訪問済）
- 石巻専修大学（2023/08/29 訪問予定）

防災情報の発信戦略

- 本所防災舘（2023/06/24 訪問済）
- 立川防災舘（2023/07/07 訪問済）

地域で求められる役割

- 多摩市役所
- 多摩市社会福祉協議会



9 参考文献

<書籍・資料>

1. 内水排水の考え方は今のままでいいか—頻発するゲリラ豪雨への下水道の対応 村上敏夫
2. 地下空間浸水時のアナウンスが安全避難成功率に及ぼす影響について 川中龍児 石垣泰輔
3. 内水反乱時の避難困難度に関する研究 平川隆一 仲本小次郎 根岸智和 星野裕也

<WEB>

1. 東京都建設局『浅川圏域、大栗川及び三沢川流域浸水予想区域図(改定)』 <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000047065.pdf> (閲覧日：2023/06/10)
2. 国土交通省『災害に備えたおもてなし』
https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/bousai/hinan_guidebook/pdf/02_torikumijirei_kouzui.pdf (閲覧日：2023/06/10)
3. 平成30年度自治調査会複数年調査 基礎自治体における多文化共生施策に関する調査研究 https://www.tama-100.or.jp/contents_detail.php?co=new&frmId=826 (閲覧日：2023/06/10)
4. 首都直下地震等による東京の被害想定（令和4年5月25日公表）
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000902/1021571.html> (閲覧日：2023/06/10)
5. 東京都下水道局『多摩地域の災害時のし尿の搬入・受入れについて』 <https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/about/e1/in0015/index.html> (閲覧日：2023/06/10)
6. 多摩市ホームページ『防災』 <https://www.city.tama.lg.jp/kurashi/bousai/index.html> (閲覧日：2023/06/10)

ご清聴ありがとうございました。

国土舘大学訪問から得た知見

学生の役割

- ・災害時での復旧
- ・防災研究
- ・情報の取捨選択
- ・産官学民情報共有

教育戦略

アンケート調査

防災舘訪問から得た知見

- 1、**水害**について調査する価値は**非常に大きい**を確認。
- 2、**防災資料**の見やすさ→外国語ではなく、
簡単な日本語を使うことで
誰もが分かりやすくなっている。

情報戦略

- ・一年生からの**防災基礎教育**
- ・団体への参加による**ボランティア活動**
- ・**災害（水害）研究**

付録

	台風・水害	地震	火災	
日本人学生	平均値	3.095618	3.525896	3.139442
	標準偏差	1.023143	1.103778	0.971843
留学生	平均値	3.586957	4.043478	3.608696
	標準偏差	1.066168	1.11468	1.125034

協力者一覧

水盛先生 「アジアと日本の歴史X・Y」

菅沼先生 「調査実験入門」

田園先生 「プレゼミ I X07・X09」

ご清聴ありがとうございました

- 国士館
→先進的な防災教育を学ぶ
- アンケート
→学生の意識を調査
- 防災館訪問
→防災情報の効果的な発信方法を知る